

2015年7月6日

東京都知事 舛添 要一 殿

DOCOMOMO Japan
代表 松隈



旧 NHK 富士見ヶ丘クラブハウス活用要望書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本会は、20世紀の建築遺産の価値を認め、それらを後世に継承することを目的の一つとして、国際的な非政府組織 DOCOMOMO (Documentation and Conservation of buildings, sites and neighborhoods of Modern Movement : モダン・ムーブメントに関わる建物と環境形成の記録調査および保存のための組織)の日本支部として活動しております。

さて、東京都におかれましては、東京都杉並区に所在する旧 NHK 富士見ヶ丘クラブハウスを解体し公園化を進めておられる予定と聞き及んでおります。

本会は旧 NHK 富士見ヶ丘クラブハウスを、20世紀の、とりわけ第二次大戦後のわが国を代表する木造モダニズム建築であると考え、注視してまいりました。以下に詳述いたしますように、旧 NHK 富士見ヶ丘クラブハウスは、傑出した「日本の木造モダニズム」としての意匠を有する歴史的建造物として重要であり、東京杉並の戦後の歴史的地理的な景観を伝える重要な記憶の一つであります。また、改修することにより高井戸公園のクラブハウスとしての利用も可能で、建設費と維持費の都の予算の縮減に寄与し、都民が文化財に親しみながらスポーツを楽しむことのできる貴重な空間とすることができます。

ぜひとも、旧 NHK 富士見ヶ丘クラブハウスの解体をご再考いただき、ご活用のご検討をされますよう、お願い申し上げます。

機能主義、合理主義、インターナショナルスタイルといった側面をもつモダニズム建築が20世紀に世界に拡がりました。そのモダニズム建築の建築家として最も著名なル・コルビュジエのアトリエに日本人として最初に学んだのが、この旧NHK富士見ヶ丘クラブハウスの設計者である前川國男(1905-1986)です。前川國男は、国際文化会館、東京文化会館、東京都美術館、国立国会図書館、紀伊國屋書店新宿店をはじめとする戦後の東京の文化を担った建築を多数設計しました。また、神奈川県立図書館・音楽堂、世田谷区民会館・区庁舎、埼玉県立博物館、東京海上ビルディング(丸の内)等々の東京・神奈川・埼玉のランドマークとなる建築も残しています。それらの建築群の中でも戦後の最初期、神奈川県立図書館・音楽堂等と同時に建てられたのが、この旧NHK富士見ヶ丘クラブハウスです。戦後、まだ物資が十分でなかった時期に、日本の伝統工法である木造建築をモダン・ムーブメントに昇華させた建築で、ピロティとテラスに柱を林立させた美しい半屋外空間により構成されています。ランドが見渡せる2階は、一室空間として、屋外を眺めながら人々が集う空間となっています。この構成は、屋上庭園こそありませんが、ル・コルビュジエが提唱した近代建築の五原則を具現化しつつ日本の伝統と合体した貴重な形態です。木造建築の前川國男自邸(江戸東京たてもの園で移築保存)と同様、前川國男の作品群の中でも価値が高く未来に伝えるべき建築です。1950年代の木造モダニズムの貴重な事例であり、重要文化財に指定された日土小学校とも通ずる価値があります。

いま一度、解体を中止し活用をご再考くださいますようお願い申し上げます。

敬具